

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、リンケービッチ・ラトビア外務大臣と会談(7/29)

●在トルコ・ベラルーシ大使館員書記官が銃撃される(7/24)

●6月のベラルーシ国内平均月給、5月対比0.8%上昇。

大統領動静

●リンケービッチ・ラトビア外務大臣と会談(7/29)

ルカシェンコ大統領の発言は以下の通り。

・政治が経済の障壁になってはならない。仮に、いずれかの国がベラルーシを理解せず、ベラルーシ経済に悪影響を与えるのであれば、ベラルーシはさらによりよい選択肢を求めるであろう。

・EU がラトビアに圧力をかけていることは承知している。にもかかわらず、ラトビアは隣国であるベラルーシとの平等で誠実な関係作りを模索していることを理解しており、評価する。

・政治・外交関係は貿易経済関係を基礎にしているのだから、ラトビア側に用意があるのであれば、両国の貿易経済関係を発展させていきたい。

・我々は西側諸国、つまり欧州、そして米国と良好関係を目指している。政治家として長年勤めており、欧州・米国の意味は十分理解している。だが、どれだけの金を積まれても、ロシアとの兄弟関係を切ることはしない。

・ロシアは辛い時期にベラルーシを支えてきた。多民族国家のロシアにおけるベラルーシ大統領の支持率は60%を超す。ただし、それは、ベラルーシが欧州、アジア、中国との関係を放棄するというわけではない。

・ベラルーシがどこかの国に依存しているなんて言論を聞いて欲しくはない。世界は相互に依存している。我々は小国であるが、小さな国家は存在しない。なぜならば、規模の大小を問わず、全ての国民は平等であるからである。ベラルーシは独立国であり、これからもそうありつつける。少なくとも私が大統領で居る限り。

(7/26 大統領府公式ホームページ)

外交

●マケイ外務大臣、欧州復興開発銀行ピヴォヴァールスキー代表と会談

両者は、インフラ近代化案件、投資家誘致事業、ベラルーシ投資魅力改善事業等につき意見交換を行った。

(7/26 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、リンケービッチ・ラトビア外務大臣と会談(7/25)

マケイ外務大臣は以下発言。

・ベラルーシとラトビア間にある微妙な意見の違いは、開放的な対話において協議する用意がある。

・二国間外務省交流は定期的になってきており、毎年相互訪問を行い、国際舞台においても会談を開催している。外務省だけでなく、多くの省庁も同様の交流を行っている。

・今後もラトビアとの対話を継続していく。

リンケービッチ氏の発言は以下の通り。

・二国間は非常に高いレベルの信頼関係である。

・依然意見の相違は存在するが対話を継続していく。

・本会談は、二国間関係に良い刺激を与えるであろう。

(7/25 ベラパン通信)

●在トルコ・ベラルーシ大使館員書記官が銃撃される。(7/24)

外務省報道局は「同書記官が子供と帰宅途中、精神病を抱えるとされる元軍人が、同氏を数発銃撃した」と発表。

(7/24 ベラパン通信)

●銃撃された在トルコ・ベラルーシ大使館書記官の容態回復(7/26)

外務省報道局は「同書記官の意識は回復し、家族との面会も許可されている。本日集中治療室から通常の病室に移される予定。」と発表。

(7/26 ベラパン通信s)

●クラフチェンコ外務次官、宗教の自由促進の閣僚会議(ワシントン)に参加

同会議においてクラフチェンコ次官は「ベラルーシは信教の自由という原則を忠実に実現している。歴史的にベラルーシは多種多様な宗教が共生してきた。」と発言した。

(7/22 ベラパン通信)

内政

●8月1日より厚生年金を6.6%引き上げ

本引き上げは国民年金基金予算外収入を利用し、行われるもの。年金受給平均額405.05ルーブル(7月)を8月には431.8ルーブルまで引き上げる予定。

(7/22 ベラパン通信)

●上半期で489件もの森林火災が発生

林業省森林管理局が発表。スヴェルトーヴスキー同局長は「今年は、珍しく乾燥した春であり3月18日の時点で初森林火災が発生した。さらに晴天、風の強い日が続いたことで火災が続発。森林火災の原因は人的要因である」と発言。

(7/22 ベラパン通信)

経済

【国内経済】

●6月のベラルーシ国内平均月給、5月対比0.8%上昇。

国家統計局の発表に拠れば6月の国内平均月給は1080.5ルーブルであり5月(1071.6ルーブル)対比0.8%上昇した。

(7/25 ベラパン通信)

●2019年6月公務員の給与5月対比2.5%上昇。

ベラルーシにおける公務員の月給は、2019年1月時点で800.9ルーブルであったが、6月時点では848.5ルーブルであった。2019年上半期の平均給与は、昨年上半期対比6.4%増加した。

(7/25 ベラパン通信)

●ミンスクの工業品製造額、5ヶ月連続減少

2019年1~6月の同額は82億7410万ルーブルと昨年同期対比3.9%減少。2019年1月には昨年同期対比0.4%増加したものの、2月以降、5ヶ月連続で減少している。他方で、鉱山業の生産量は、昨年同期対比10.5%拡大している。

(7/22 ベラパン通信)

●国家統計局、2019年第二四半期の実質無職率4.4%と発表

(7/23 ベラパン通信)

【対外経済】

●ミャスニコヴィチ上院議長「ベラルーシ企業の利益がロシアに流出している」(7/25)

国営テレビ局でミャスニコヴィチは「ベラルーシ企業が当地で稼いだ利益は、ロシアにある親会社に対し配当され、当地に利益が残らない。二国間の合意や国際法に反することではないが、当地で発生した利益は当地の発展の為に活用されてほしい。例としては、ベルトランスネフチ(親会社は露ガスプロム)、MTS(親会社は露MTS)等である」と発言。

(7/26 ベラパン通信)

●2019年1~5月ベラルーシ・EU間の貿易高、昨年同時期対比11%減少。

国家統計局の発表に拠れば、ベラルーシ・EU間の輸出(2019年1~5月)は昨年同期対比18%減少、同輸入は昨年同期対比0.1%増加。

(7/25 ベラパン通信)

●在中国ベラルーシ大使、中国・ベラルーシ共同産業特区「巨石」からの中国への輸出見込額は340億ドルを超えると発言

ベラルーシ経済ジャーナルにて、キリル・ルーディ同大使の記事が公表された。主な内容は以下の通り。

・2017年、中国の輸入量は、EUから2450億ドル、米国から1544億ドルであった。

・「巨石」における主要製造品目に関する中国の輸入動向と「巨石」入居企業数が約 500 社まで拡大することに鑑みると、「巨石」から中国への輸出額は340億ドルまで拡大すると見込むことができる。

(7/23 ベラパン通信)

(了)